

## コロンビア政治情勢（8月分）

### 1 概要

#### 【内政】

- 8日 新政権が国会に施政方針を提出
- 13日 E L Nの誘拐事件に対する国防省プレスリリース
- 13日 新和平高等弁務官及び新大統領府ポストコンフリクト・人権・治安担当高等審議官の任命
- 16日 憲法裁判所が和平特別司法制度（J E P）の制定法に係る変更点を承認
- 26日 汚職対策案に関する国民投票

#### 【外交】

- 4日 マドゥーロ・ベネズエラ大統領暗殺未遂事件に関する外務省プレスリリース
- 8日 新政権によるパレスチナ国家承認
- 15～16日 河野外務大臣の当地訪問
- 16日 マティス米国国防長官の当地訪問
- 23日 トウルヒージョ外相の国連訪問（於：ニューヨーク）
- 27日 南米諸国連合（UNASUR）からの脱退通知
- 29～30日 サンチェス・スペイン首相の当地公式訪問

### 2 本文

#### 【内政】

#### 1 新政権が国会に施政方針を提出

8日、新政権は国会に施政方針を提出した。同方針の主な内容は、汚職対策、公務員の確定申告の義務づけ、公共入札に係る規則の厳格化、公職選挙法に係る規定及び誘拐・麻薬取引は政治関連犯罪として扱わないといったものである。

#### 2 E L Nの誘拐事件に対する国防省プレスリリース

13日、国防省はE L Nによって誘拐された2名の民間人及び7名の軍人の解放に向けた取組を進めている旨発表した。同誘拐事件は数日前にアラウカ県及びチョコ県で発生した。

### 3 新和平高等弁務官及び新大統領府ポストコンフリクト・人権・治安担当高等審議官の任命

13日、ドゥケ大統領は、新たに和平高等弁務官にセバジヨス (Miguel Ceballos) 氏、大統領府ポストコンフリクト・人権・治安担当高等審議官にアルチラ (Emilio Archila) 氏をそれぞれ任命した。両名ともラミレス副大統領に近い人物。

### 4 憲法裁判所が和平特別司法制度 (JEP) の制定法に係る変更点を承認

16日、憲法裁判所が和平特別司法制度 (JEP) の制定法に係る変更点を承認した。主な変更点は、性犯罪に対する代替的処罰の復活、犯罪人の引渡しの禁止を継続 (2016年12月1日以前に罪を犯したFARCメンバーに適用)、最近5年間にFARCの被害者弁護を担当したJEP弁護士の資格停止を提案した国会案の棄却、また、麻薬関連犯罪に対する処罰の判断はJEPに委ねられる点である。

### 5 汚職対策案に関する国民投票

26日、汚職対策案に関する国民投票 (consulta popular anticorrupcion) が実施された。得票数は1,168万4,951票となり、同案が効力を持つための最低得票数である1,214万342票に達しなかった。

## 【外交】

### 1 マドゥーロ・ベネズエラ大統領暗殺未遂事件に関する外務省プレスリリース

4日、カラカスで演説していたマドゥーロ大統領の近くで爆発物を搭載した複数のドローンが爆発する暗殺未遂事件が発生し、「マ」大統領が米国及びコロンビアによる企てであるとの発言に対し、外務省はプレスリリースを発出した。同プレスリリースにおいて、サントス大統領は同事件への関与を否定した。

### 2 新政権によるパレスチナ国家承認

8日、ドゥケ大統領は、前政権がパレスチナを国家として承認する決断を下した件に関し、新政権においても同決断を継続する旨表明した。また、同大統領は「コロンビアによるパレスチナの家承認は不可逆的なものである。」旨述べた。

### 3 河野外務大臣の当地訪問

15～16日、河野外務大臣はコロンビアを訪問した。同訪問で河野外務大臣は、ドゥケ大統領と会談し、二国間協力、貿易、外交関係110周年などについて話し合った。また、トゥルヒージョ外務大臣と会談し、二国間の各種テーマについて協議を行った。

#### 4 マティス米国国防長官の当地訪問

16日、マティス国防長官はコロンビアを訪問し、ドゥケ大統領と会談を行った。同会談では、麻薬対策、国際的な組織犯罪、対人地雷への対策及びベネズエラ問題が議題に挙げられた。

#### 5 トウルヒージョ外相の国連訪問（於：ニューヨーク）

23日、トウルヒージョ外相は国連本部を訪問した。同訪問で同外相は、コロンビアの国際的なアジェンダの展開、ドゥケ政権の優先事項などを国連に報告した。

#### 6 南米諸国連合（UNASUR）からの脱退通知

27日、コロンビア外務省は同省プレスリリースで南米諸国連合（UNASUR）設立条約破棄及び脱退を通知した。

#### 7 サンチェス・スペイン首相の当地公式訪問

29～30日、サンチェス・スペイン首相は南米訪問の一環としてコロンビアを訪問した。同訪問は、南米諸国との関係及び対話の強化を目的に行われた。同訪問中、「サ」首相は、ドゥケ大統領、トウルヒージョ外相及びボテロ国防大臣らと会談を行った。また、ドゥケ大統領及び「サ」首相の共同記者会見が実施され、さらにドゥケ大統領及び「サ」首相は共同宣言に署名した。